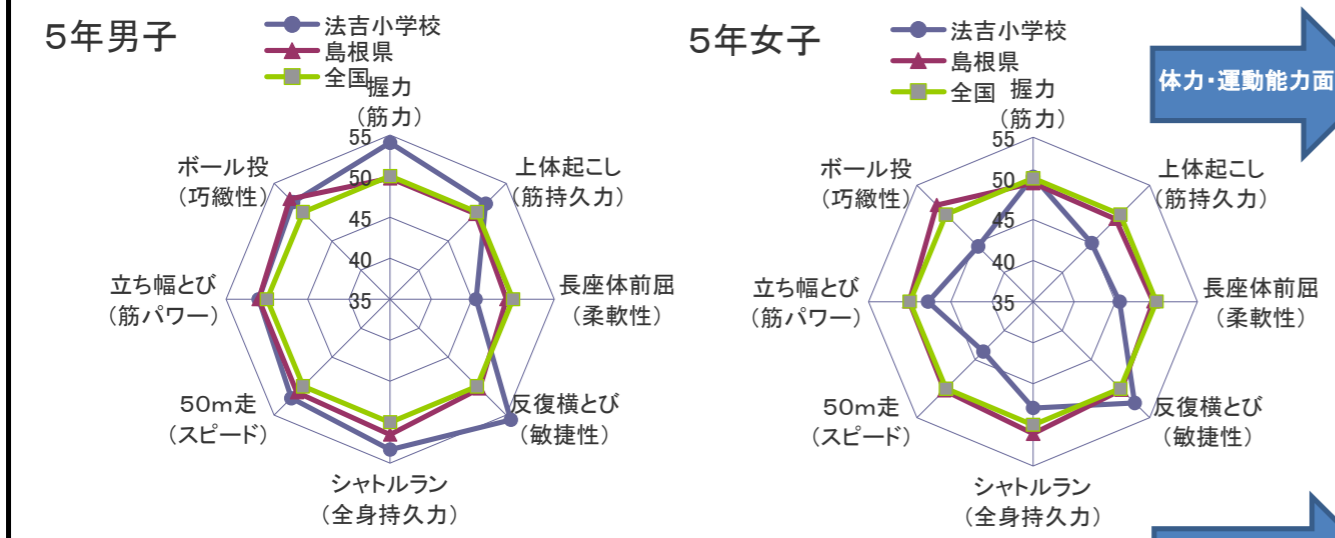
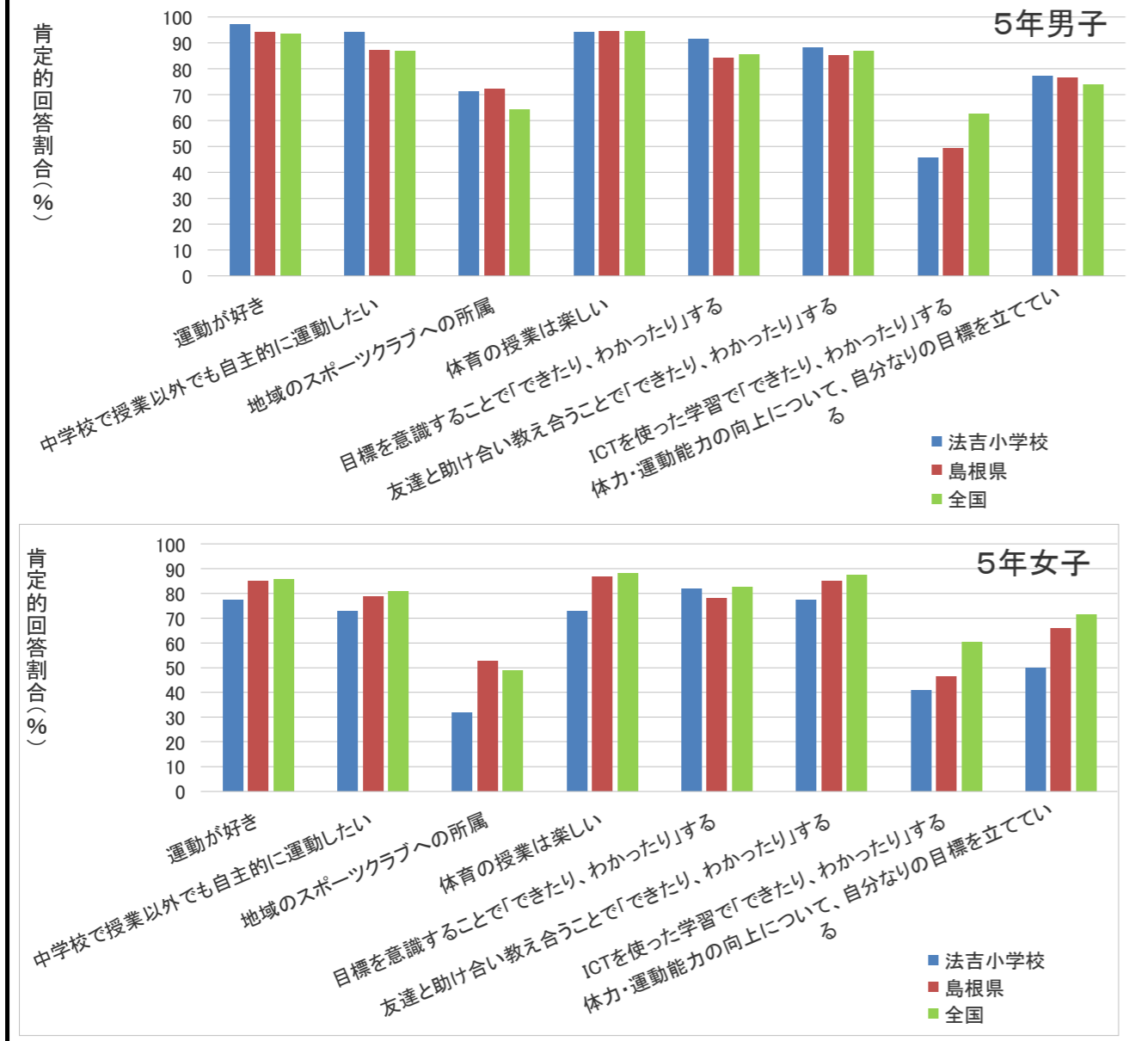


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	4.0	1.5	-4.5	5.8	3.3	2.1	1.0	1.7
女子	0.2	-4.9	-4.5	2.5	-2.1	-6.4	-2.2	-5.5

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	3.7	7.2	7.1	-0.3	5.8	1.4	-16.9	3.3
女子	-8.5	-7.9	-17.0	-15.4	-0.7	-10.2	-19.3	-21.3

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

- ・学年間でどのような取り組みを行っているのか情報交換を行う機会を設ける。また、それをもとにできるだけ同じ時期に同じ領域の指導ができるように、年間指導計画を見直しを行う。
- ・「めあて」の提示や「自分に合った目標」を立てることを体育授業の共通ルールとし、子どもたちが目標を意識して体育の授業に取り組むことができるようにする。
- ・体育授業の中で、コツを見つけて教え合う時間を設定し、コツを見つけたり、言語化したり図に表したりして伝え合う力を育てる。
- ・ふり返りの時間をとり、できるようになったことや自分の課題などに気づき、次時以降に生かせるようにする。
- ・ICT機器を活用し、子どもたちが自分や友達の姿を見ながら、話し合ったり確認したりする活動を取り入れる。
- ・体育で有効活用できるように、備品の整備や購入など計画的に行う。
- ・法吉小の課題である柔軟性や巧緻性に重点を置きながら、体力向上につながる取り組み(ロードレース大会や遊びチャレンジカードなど)を行っていく。